

Q 4 参加行事

宇津峰祭 5

三世代交流事業 3

スタッフとして参加 2

[その他] 盆踊り、敬老会、一斉清掃、サロン会、健康講座、防災講話、元気会、収穫祭、夏祭、育成会行事

高齢のため迷惑をかけないように参加しなくなった

体育祭の中止により交流の場がなくなり残念

球技大会は参加者が少ないので必要ない

何の意味もありません（引っ越して 14 年になるが）

Q 5 地元をどう思うか**【交通関係】**

- 車がないと身動きが難しい。
- 車の運転ができなくなったら買い物に行く手段がなく、不安
- 高齢になり車の運転ができなくなると、通院や買い物が不便になり不安である。
- 市街地に近く、免許がある間は問題ない。
- 車がないと不便
- バスの本数が少なく、土日は運行していないので不便

【生活環境】

- 高齢者にとっても住みにくい。
- 地元の店舗は少ないが圏内に多数あるため、不便とは感じない。
- あおば町は住宅が多い割に店舗等がなく不便

【住民の交流】

- 小塩江地区だけの魅力を感じられない。
- 若者が集える場所を増やしてほしい。

【道路整備】

- 市街地への道路整備を進めてほしい。
- 阿武隈川を越えると道が狭く舗装も悪いため、車の運転が怖い。

【その他】

- 「自然」に対する価値観は人それぞれだが、「豊かな自然」の中で様々なアクティビティを企画し楽しめる場を作れば、賑わいを創出できるのではないかな。
- 住民が減少している。（20 年前は 240 戸、現在は 180 戸）
- 共働き世帯が多いのに地区の役割が多すぎる。
- 可もなく不可もなく。

Q 6 地元の地区や小塩江地区全体での課題

- 若年層が地元でできる賑わいを創出するためのコーディネーターが必要と感じる。「人がいない」「やることがない」から、「やることあるから人が集まる地」に変える取り組みが求められていると思う。
- 行事などが昔のままの部分もあり、減らす必要がある。
- 地区全体が開けておらず、雑木があちこちにあって昔のままのようだ。
- この地域でしか味わえない施設や公園などがない。
- 少子高齢化や単身者の増加により、支障が出ている。
- 各所からの通知文書の理解が難しくなっている。
- 若い人が増えないため、役を何度も回される。

Q 7 地元に求めること

- 遊休地対策を行う。

- 有害鳥獣対策を強化する。
- この地域にしかないものを作ることよいのではないか。
- 自然が豊かであること。
- 交流は必要だが、80 歳代以上になると足腰が弱くなり参加が難しい。
- 集落の在り方を見つめ直し、若い人が住みやすい風習を取り入れるべきだ。
- 高齢者が圧倒的に多いため交流も難しいが、安全面などに配慮しながら進めることも大切だと思う。
- 若者の行事参加が少ない。
- 元気が出る行事があるとよい。
- あおば町にはゴルフ大会、ソフトボール参加、サロン会、育成会など交流があると思う。

Q 8 地元の地区や小塩江地区で良い所

【住民の交流】

- 人が温かい。
- 昔からのコミュニティが存在していることは、現在の希薄な人間関係の中で良いことと思う。
- 住民が優しい。
- 区内の交流が少ない。
- 地域の結びつきが強い。
- 顔見知りが多く、挨拶や声掛けをしている。
- 住民の皆さんと気軽に話せるところ。
- 球技大会など交流の場があるのが素晴らしい。
- 大人子ども関係なく楽しめること。
- 地域の人と交流できるところ。
- 行事などで交流するとき、仲良く取り組んでいる。
- 高齢者が多いが、だからこそ学べることがある（三世代交流）。
- 地域の方と交流する機会が多い。
- 三世代交流事業があり、地域の方と交流できてよい。
- 一人一人が優しく、挨拶をすれば返してくれる。
- 世代別に人と交流できる。
- 仲が良い。
- 人口が少ないからこそ、みんなで団結できる。
- 地域との交流がある。
- 地域住民が参加できる行事や美化運動などの企画がある。
- 昔ながらの伝統を守ろうとする姿勢が良い。
- 住民皆仲が良い。
- 近所とのコミュニケーションが良く、挨拶が返ってくるのは嬉しい。

【自然・歴史】

- 害獣が少なく、屋外で安心して活動できる。
- 自然が豊か。
- 自然が豊かで住みやすい。
- 自然が豊かで人が少ないところ。
- 宇津峰
- 宇津峰山を中心に様々な企画を行うことで地域が広がっていくのではないか。
- 市民の森は閉鎖されたが、宇津峰山の登山やハイキングを盛り込むと面白い。
- 様々な動物がいて面白い。
- 自然が多く、手作りの野菜を食べられること。
- 神社など歴史が奥深い。

【生活環境】

- 子どもが多く、工夫次第で地域が大きく盛り上がる可能性が高い。
- 自然やそれぞれの環境でしっかり根を下ろして生活している。

- 気候が穏やかで緑が多く、生活に良いところ。
- のどかで穏やか。
- 大きな地区ではないが、それぞれの特徴があり、尊重しあって協力している。

【交通】

- 飛行場が近い。
- 駅や街に近い。
- 自然豊かでありながら、須賀川や郡山の街中に近く便利である。

【その他】

- 公民館主催の事業は素晴らしい。
- 平均的

Q9 10年後の地元への希望

【住民の交流】

- すべての世代を超えて触れ合い、強固な地区になってほしい。
- 高齢者も若い人も共に暮らせる地域
- 子どもから高齢者まで交流があり、互いに助け合える地区にしたい。
- にぎわいのある地区にしたい（人口増加、子どもたちの増加も含めて）。
- 人口減少はやむを得ないが、子どもや高齢者の見守りが自然にできる地区
- 独居高齢者の家への訪問や声掛けができる地区
- 参加できる行事があると良い。
- 行事などはやめていく方向で検討してほしい。
- いろいろな人との交流が増えてほしい。
- 年齢に関係なく交流できる地区にしていきたい。
- みんなが楽しく交流できる活気あふれる地区にしたい。
- 閉鎖的な考え方が多いように思われるが、年配の人でも参加できる耕地を利用した農業の取り組みを進めたい。
- 日常生活に必要な施設や公共交通が利用しやすい。
- 楽しく活動できる。

【少子高齢化】

- 若者が増えてほしい。
- 若い人が生きがいを感じ、住みやすい地区になってほしい。
- 若い人がもっと住んでほしい。
- 若い人が多い地区にしたい。
- 高齢化が止まり、地域の方々の数が増えていたらいい。
- 人口がもっと増えてほしい。
- 若者世代がさらに増えてほしい。
- 多くの人がいる地域になってほしい。
- 小さな子どもたちがいてにぎやかな地区にしたい。
- 子どもたちの遊ぶ声が聞こえる地域にしたい。

【生活環境】

- 今後も安心して生活できる地域であってほしい。
- 便利な商業施設があるとよい。
- お店がたくさんある地区になってほしい。
- ゴミが今より少ない地区になってほしい。
- 防災体制が整い、安心して暮らせる地域にしたい。

【地域整備】

- 東部地区の開発により、若者が生き生きと生活できる活気あふれる地域になることを望む。
- 自然を守りながら技術を取り入れ、さらに豊かな地域にしたい。
- 店舗、病院、郵便局がないため、せめて店舗は欲しい。

【その他】

- 自然を活用したアクティビティ（アウトドア等）により、賑わいのある地区になってほしい。
- 現状維持を望む。

Q10 小塩江コミュニティセンターについて

- 教育活動に熱心に取り組み、「人を育てる」という視点を大切にしている。
- 大変だと思う。
- 施設が狭いため、活用する機会が少ない。
- いまいちピンとこない。
- 職員の方はいつも一生懸命に取り組んでいる。
- あおば町からは遠いため、利用する人は少ない。
- 「tette」のほうが行きやすい。
- 小塩江地域のことを最も考えてくれており感謝している。
- 働いていると利用する暇がない。
- 夜のヨガ教室などを定期的で開催してほしい。
- 講座が少なくなり、足を運ぶ機会が減った。

Q13 主な役員間の連絡等の手段

- 回覧、文書配布 5
- 郵便 4
- 土曜日開催で調整

Q15 行政区等で負担軽減のために見直した事

- ゴミ分別講習を開催してほしい。
- 班長等の業務軽減、ゴミ ST の清掃軽減
- コロナ禍以降行政区での懇親会は取りやめた。
- 回覧板のデジタル化
- 行政手続きの簡素化やオンライン化
- 役員会等で話し合う事項がない場合、通知文で意思統一する。

Q16 その他の意見

- このアンケートが、新しい事業の創設や既存事業の見直しによる充実・推進につながってほしい。
- 「地区ごと」というよりも、市全体で地域をどう連携させていくか、賑わいを創出していくかを考える視点も必要ではないか。
- 家の中で取り組める運動などのチラシを作成し、各家庭に配布してはどうか。（フレイル予防や健康維持のため、高齢者でもできる内容）
- ボケ防止のために、毎日 10 分程度できる脳トレを毎月配布するのはどうか。（一回あたり 3 問程度）
- 高齢化が大きな問題と思うが、この地域は市街化調整区域であり、新たに人が入ってこれない状況である。早急にこの問題を解決しないと、山とソーラーだけの地域になってしまうと思う。
- 行政は自信を持って各種行事を開催してほしい。地域の力になる。
- 若者が働ける場所の拡充
- 地域住民が一堂に会する体育祭は、勝敗だけでなく、多様な内容での実施が望ましい。
- 「チョコスカ」のような交通手段の必要性
- 東部地区の開発を望みます。
- 高齢者であるアナログ世代と、現在のデジタル世代のギャップが大きすぎる。
- 地域の伝統を継承しようとしても、面倒くさがる人が多い。
- 今はネット社会が優先されているのだろう。
- 様々な行事が中止になっているのが残念である。
- 「行政センター」という名称に馴染めず、「公民館」の方が住民の交流や教養を高める場所だと感じる。

- 車で買い物ができているが、将来が不安
- 高齢化がさらに進み、単身者は免許を失えば買い物や通院に支障が出る。
- 行事の後の反省会が負担になるため、現代風にお弁当を配って終了するなど、拘束時間を減らしてほしい。
- 子どもたちが安全に通学できるよう、通学路の整備が必要
- 環境を大切にする（ポイ捨ての防止など）。
- 有料でもよいので映画鑑賞会を開催してはどうか。地方ではあまり見られないマイナーな作品など。
- 軽トラ市のような企画、例えばフリーマーケットの実施はどうか。地域内外の交流の場となる。
- 区対抗などの枠にとらわれず、コミュニケーションを取りたい。
- あおば町は高齢者を大切にしてくれている。
- ウルトラ長寿体操が楽しみ。